

所 信 表 明

令和2年第1回木古内町議会臨時会の貴重なお時間をいただき、今と未来の町政推進について私の所信の一端を申し述べ、町民の皆さま並びに町議会議員の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

なお、令和2年度は、骨格予算でありますので、6月の定例町議会にて政策予算をご審議いただくこととなります。その際に改めて詳細な政策を申し述べさせて頂きたいと思っております。ご理解賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

私は、町民の皆さまの温かいご支援とご期待をいただき、第8代木古内町長に就任させていただきました。有権者の皆さま全ての票の重みを全身で感じております。木古内を再生・発展させる世代交代のバトンを歴代7人の町長から引き継ぎさせて頂いたその重責に身が引き締まる思いです。

今、町に求められているものは、建設的な議論を行うことです。問題を先延ばしすることなく「現在と未来を守る為に挑戦する町政」を目指すことであります。

その為には、町民の皆さま、町議会議員の皆さま、町職員、全ての力を結集しスクラムを組み、早い時代の流れに柔軟に対応しながら勇気と信念をもって活動致します。

活力溢れる木古内町の未来を実現するために町が抱える課題に向き合い、徹底した町民目線で一つひとつ親切に丁寧に尚且つスピー

ド感をもち解決し「カタチ」にしていきます。

私が町長として取り組むことは「大きく分けて次の3点を大切に考えております。

1. 「過去」先人に感謝し伝承すること
2. 「現在」今を共に歩み守ること
3. 「未来」挑戦し創造すること

この3点が揃った「世代交代」であり「持続可能なまちづくり」であると考えております。

一点目に「過去」先人に感謝し伝承することです。

先人から受け継いできた木古内の豊かな自然や、歴史、文化、伝統など当町の特色を更に活かした観光政策を展開するとともに、インバウンド観光を推進し観光を楽しんでいただけるよう取り組んでまいります。若い世代の参画を積極的に受け入れ、豊かな発想力のもと収益事業の展開を図るため、官民連携を進めてまいります。

サラキ岬のチューリップフェアや寒中みそぎフェスティバルなど木古内の四季の移り変わりを感ずるイベントについて関係者各位のご尽力を賜りながら町として支援を強化し、共に歩んでまいります。

また、旧中学校や旧恵心園なども企業誘致など様々な活用方法を検討し、負の遺産として次世代に残すことがないように進めてまいります。

行政運営では、人事評価制度の効果的な活用、職員定員管理計画の変更に取り組み、適材適所の人員配置を目指します。

町職員一人ひとりが個性を活かし、やりがいをもって、自分らしく輝いて仕事ができる環境を整えてまいります。

二点目は「現在」今を共に歩み守ることです。

「安心・安全なまち」を継続し守ることが重要です。

町の人口は20年間で40%減り約4,000人です。高齢化率は20年前は25%でしたが現在では、約50%になろうとしています。急激なスピードで進む少子高齢化の歯止めが急務であります。

高齢者福祉では、いつまでも健康で元気に生活することができ、また買い物や病院への外出も今まで以上に気軽に行けるような交通環境の充実を推進いたします。単に介護を要する方の施設を増加させることではなく、いつまでも住み慣れた家や地域で安心して暮らせる環境づくりが重要であると考えます。

介護福祉では、高齢者の日常生活圏域ニーズ調査の分析、研究を進め親切・丁寧を心掛け更に充実した介護保険事業計画を目指します。

障がい者福祉では、細かいニーズに対応できる体制を整え地元で就労できるように進めてまいります。

病院事業では、国保病院の存続の為に全力で取り組むとともに、安定経営のうえ地域医療の継続体制の構築に努めます。

子育て教育では、子どもが安心・安全に通学するための防犯カメラやパトロールなど地域全体で子ども達をまもる政策に取り組んで

まいるとともに、冬季や雨天時に子ども達が集える施設の充実や認定こども園の整備も進めてまいります。

さらに、GIGAスクール構想では、小中学校にWi-Fi環境を整備し、タブレット端末の整備や小中学校の設備の改修、雨漏りの修繕等は、計画を前倒ししてでも教育環境の改善に取り組みます。

防災では、より安心安全な避難態勢を確立するため自主防災組織の結成を目指すとともに地域防災の強化を進め事業者や他地域との連携協定を積極的に結び防災に強いまちづくりを進めます。

また、防災無線のデジタル化やITやAIの活用も検討し進めてまいります。

最後に三点目は「未来」挑戦し創造することです。

若い世代が急激に減少しているいま、最も重要なのは「雇用の創出」「子育て支援」「移住対策」をより充実させ魅力あるまちづくりに挑戦し創造していくことです。

わが町では、合計特殊出生率1.12と非常に低い数値であり、主な少子化の原因は少母化であることからより効果的な政策を進め少子化に歯止めがかかるよう取り組んでまいります。

平成28年に開通した北海道新幹線・道南いさりび鉄道を最大限に活かした開通後のまちづくりを進めていくとともに、高規格幹線道路函館・江差自動車道「(仮称)木古内インターチェンジ」が供用開始となることで木古内町の交通拠点としての役割はさらに重要なものとなります。供用開始のプラス効果は最大限に、マイナス効果は最小限になるよう取り組んでまいるとともに札幌・泉沢・釜谷

の地域住民の声をしっかりと反映した地域づくりを進めてまいります。

林業林産業では、当町の森林面積は総面積の89%を占めており恵まれた森林資源を有しています。町有林の計画的な整備・道南エリアで森林認証を取得した道南杉の積極的なPRを始め業界全体のイメージ戦略に取り組み、雇用の確保・森林機能の維持・保全を図ります。

水産業では、「水産業元年」と位置づけ力強く政策を進めてまいります。

町の漁業者は平均年齢70歳を超えており毎年廃業する漁業者が増え、20年間で10分の1になり今では組合員数が27人であります。

密漁防止対策やウニ・アワビ・ナマコなどの種苗放流やカキの養殖漁業の推進のほか新たな助成制度新設を検討し、漁業の発展のため取り組んでまいります。

農業では、ここ数年、農業後継者がUターンしていることから、農家戸数の減少に歯止めがかかりつつありますが、小規模農家の年齢は依然として高い状況であります。

安定生産・安定供給に向けた取り組みを継続し、施設野菜の維持・拡大に向けた推進や農業用施設の改修及び維持管理に取り組んでまいります。

一次産業がより活性化していく為には様々な課題がありますが、私は一人ひとりの声をしっかりと受け止め、課題を解決することが重要であると考え、農林水産業の発展・後継者育成・事業継承の支援を進めてまいります。

また、次のステップとして、年間を通し安定した雇用や生産を実現するために、今後、「LED水耕栽培」や「陸上養殖」などへの挑戦をし、持続可能なまちづくりを進めるため、一次産業の活性化に覚悟を持ち、取り組んでまいります。

一次産業や商工業を支援・育成しながら、ふるさと納税や企業版ふるさと納税に力を入れ税収を増やします。

それを財源とした「わくわくプロジェクト」で水道料金基本料金の値下げや家庭用ごみ袋の値下げを実行します。町民の皆さん一人ひとりに公平公正な行政サービスの提供、日々の生活の負担を減らすことを大切に考えます。

過去を変えることはできませんが今と未来は変えることができます。

以上、私の3点の基本的な考え方を述べさせていただきました。

基本的な考えの中で申し上げた具体案は例示にすぎないと考えております。

3点の基本的な考えは、ぶれることなく一貫させながらも、より良いアイデアを生み出していくためにも、私の考え方だけではなくたくさんの方の力が結集したときに「活力あふれる木古内町」が誕生すると信じています。

これこそが私が大切にしてきた「草の根」であります。

結びになりますが、新型コロナウイルス感染症から町民の健康と

命と生活を守る為の対策は最重要課題として最大限取り組んでまいります。

町民の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

現在、人口についても財政についても大変厳しい状態にあるのかもしれない。しかし、厳しい現実から目を背けることなく勇敢に挑戦し町の再生発展のため、町民の皆さまの更なる幸せのため尽くしてまいります。

町が抱える課題に向き合い徹底した町民目線で一つずつ丁寧に「カタチ」にできるよう努めますので、町民の皆さま、町議会議員の皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして所信表明の挨拶とさせていただきます。